



令和8年6月1日
世田谷区立砧小学校
ことばの教室
校長 神田 光子
Tel 03-3417-4822

5月末に多くの在籍校で運動会が開かれました。子どもたちが練習で特にがんばっていることや、ドキドキする気持ちを話す姿から、当日への期待感が伝わってきました。失敗を経験に、成功を自信にして、次の学校行事でもたくましく成長して行ってほしいです。

さて、今月は在籍校訪問、保護者面談週間があります。担任の先生、保護者の皆様との面談を通して、学校や家庭でのお子様の様子について共有し、指導に役立てることがねらいです。お忙しい中と思いますが、ご理解ご協力をお願いいたします。

行事予定



2日(火) 都難言協ブロック研究会(午後の指導はありません)

8日(月)～12日(金) 在籍校訪問、保護者個人面談週間

※この期間の通級指導はありません

9日(火) 都難言協専門研究会

29日(月) 区難言担任連絡会(午前の指導はありません)

30日(火) 都難言協通級指導学級研究会(午後の指導はありません)



1日(水) 第1回 吃音グループ学習会

☆参加予定の方には、お知らせを配布しています

7日(火) 都難言ブロック研究会(午後の指導はありません)

10日(金) 個別指導終了

13日(月)～16日(木) 保護者面談週間

13日(月) 区難言担任連絡会(午前の面談はありません)

14日(火) 都難言協専門研究会(午後の面談はありません)

17日(金) 砧小学校終業式

保護者の皆様へのお願い

6月中に『令和8年度 特別支援教育就学奨励費 希望調書』(通級時にかかる交通費)をお配りします。必要事項をご記入の上、ご提出をお願いいたします。

提出期限は、配布時に各担当者よりお伝えします。

よろしく申し上げます



ことばの教室 こんな児童が学習しています②

○構音障害(発音の誤り)とは…

言葉を理解しているし、伝えたい言葉ははっきりしているけれど、うまく音にできない。そんな発音の誤りのことを構音障害といいます。赤ちゃん言葉のように聞こえる(幼い話し方)、ある音が言えない(例:からす→タラス)、全体的に聞き取りにくいなど、発音の誤り方は人によって違います。

○家庭や学校でできる配慮

今月号では発音の誤りがある児童への対応で、大切にしたいことを紹介します。



①発音の誤りを指摘せず、

正しい音をさり気なく聞かせる

授業中や子どものおしゃべりの中で、発音の誤りに気付いたときは、指摘せず、正しい音で同じ言葉をさり気なく聞かせてあげてください。例えば、「タッカーおもしろいね」と話しかけられたら「そうね、サッカーって本当に面白いね」と返してください。正しい音を繰り返し耳で聞くことも、大切な学習の一つです。

もしも周囲に発音のことで心無い言葉を投げかける子どもがいたら、すぐにその場で指導してください。少しの真似やからかいても、本人は深く傷つきます。

②人と話すことを大好きに!

学校生活では、出したい音がうまく出ない、友達に何度も聞き返される…そんな壁にぶつかることがあるかもしれません。そんなとき、子どもの支えとなるのが「人と話すことが大好き!」という気持ちです。

話すことが大好きな子どもは、諦めずに自分を表現する勇気を持ち続けることができます。人とのかかわりを楽しみ、「友達と話すって楽しい!」「言いたいことが言えた!」と思える経験を積み重ねていってほしいです。

③よく噛んで食べる

発音の縁の下の力持ち。正しい音を支える土台が、口と舌を動かす力です。実は、大人も子どもも「硬いものを食べること」よりも「噛む回数を増やすこと」が大切だと言われています。

ゼリーのようにつるんとした物や一口では噛み切れない物、シャキッとした触感の物など、いろいろな触感の物を味わいながら食べると噛むことが楽しくなります。さくらんぼやびわなど、旬の果物もいいですね。

④予め音を予想しながら、

言いたいことをくみ取って「聴く」

子どもに話しかけられて聞き取れなかったり、内容が分からなかったりしたことはありませんか?そんなときは、誤りそうな音を予め予想し、本人の言いたいことをくみ取りながら最後まで話を「聴いてください。

音の正誤に関係なく、大人側が「〇〇ちゃんの言いたいことは、ちゃんとわかっているよ」という構えで話を「聴いてもらった経験は、安心感を育みます。会話のときに少し意識するだけで、お互いに嬉しいやり取りが増えていきます。



家庭や在籍学級で「こんなとき、どんな声かけをしたらいいかしら?」と迷ったり、「もうすぐ発表会、どんな配慮ができるだろうか?」と悩んだりしたときは、いつでもことばの教室までご相談ください。